

リサイクル雑誌配布します。

保存期間の終わった雑誌を配布いたします。
 日時: 2月15日(土)、16日(日) 10:00~
 場所: 南風原町立図書館前

★蔵書点検のお知らせ★

1月31日(金)~2月14日(金)

上記日程を特別整理期間としてお休みします。
 ご理解・ご協力宜しくお願い致します。

皆さん、とても上手に作れていました。

冬休み親子工作

小さいケーキをつくろう!

12月27日に親子工作を行いました。



図書館だより



問 南風原町立図書館 ☎889-6400

開館時間/10:00~19:00(土日17:00まで)
 休館日/毎週火曜日、第4木曜日、祝日

2月 受入予定図書

都合により受入れが遅れる場合があります
 (詳しくは図書館まで)

- ★わかったさんのスイートポテト/寺村輝夫
- ★まっしろしろくま/柴田ケイコ
- ★京都ものがたりの道/彬子女王
- ★図解わかる相続・相続税 改訂第7版/監修:藤井和哉
- ★大谷翔平の成信力/西田一見
- ★こんな世界でギリギリ生きています
 /文:荻上チキ、絵:ヨシタケシンスケ
- ★ドヴォルザークに染まるころ/町田そのこ
- ★ヤマピカリヤー西表島のヤマネコのおはなし/軽部武宏



電子図書館
 ホームページ

いつでも
 どこでも読める
 電子図書館



電子図書館
 申し込みについて



学校応援隊 はえばる

ボランティアに協力いただける方は、問 南風原中央公民館 ☎889-0568
 ぜひお電話ください。

南風原小学校 4学年

10月29日

車いすユーザー講話



車いすトラベラー みよ たつや 三代達也さん

世界中を旅している三代さんが感じたバリアフリーの現状を紹介しました。また、「気づくこと」の大切さや行動に移す勇気も必要だとお話しいただきました。児童へ「沖縄の先人から伝わる「ゆいまーる」を誇りに思ってください」と熱いメッセージがありました。

南風原小学校 6年1組

12月13日

平和で豊かな社会を目指して



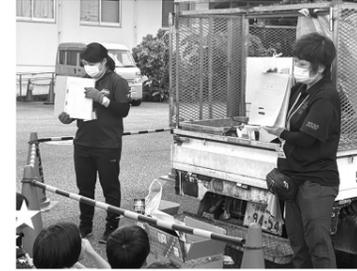
紺とハイオ織り(右)の違いを話す
 まえしろ なみこ 前城菜美子 学芸員

戦後の南風原でハイオ織りを研究し普及させた女性、田本成子さんを通して、戦争のあと沖縄の人々がどのような想いをもって暮らしを立て直し、今日(こんにち)の社会を築いていったのかを学びました。

南風原小学校 4学年

12月4日

ごみはどこへ



ワークプラザ南風職員

町のゴミ回収委託業者、資源ゴミ回収のワークプラザ南風職員をお招きし、分別の方法やリサイクルの大切さを学びました。児童からは「しっかり分別することを家族にも伝えたいと思います」と感想がありました。

翔南小学校 4学年

12月10日

かすり会館見学・体験、大城機織機製作所見学



作業所内を案内する
 おおしろ よしまさ 大城義政さん

南風原町の伝統工芸品琉球かすりについて織機製作所で織機について学びました。かすり会館では見学とコースター織り体験をし、琉球かすりの製作に携わる人の技術と苦勞を知ることができました。

文化の泉 宝物

No.61

問 南風原文化センター ☎889・7399

電気の普及から約70年!

戦後の南風原に電気が普及して、今年で約70年がたちます。私たちが何気なく使っている電気は、戦後暮らしを暮らした人達にどのような影響を与えたのでしょうか。今回は、戦後の南風原における電気の普及についてご紹介いたします。

戦後の沖縄の人々は、石油ランプなどで灯りをとる生活を余儀なくされてきました。

そのような中、一九五四年に現在の沖縄電力の前身である「琉球電力公社」が発足し、沖縄各地への電気の供給が始まります。

南風原では、一九五四年から一九五七年にかけて各地に電気が供給され、電灯が使えるようになり、便利になり、火事が減ったほか、機織りやミシンなどの内職により、時間を有効に活用できるようになりました。

借金をして足踏み式のミシンを購入したという方は、夜中でも作業を続けられたことで借金を早く返すことができました、と電気の普及を喜びました。電灯がついたことで「これで「ニッポン」になった」と喜ぶ声もあつたようです。

また、電灯に関してこのような狂歌を詠んだ方もいました。
 「アメリカ世になりば 灯りまでい
 変わって、タンメハギチブル ゆく
 ん光てい」

「アメリカ統治の時代になったら灯りまで変わって、おじいのはげ頭もよけいに光るようになった」という意味



喜屋武で使われた発電機(喜屋武字誌より引用)

(玉城)

電気の影響は暮らしのほかにもあらわれました。元々、喜屋武の綱引きには「たいびー(たいまつ)」が使われていたが、一九五五年には消えたことが南風原町史に記載されており、電灯が「たいびー」の代わりになったことが考えられています。

このように、電気の普及は戦後の南風原の生活や伝統行事にも影響を与えました。

ちなみに、一九五〇年には一足先に喜屋武の住民が配電事業を立ち上げ、喜屋武、照屋本部の一部の家庭に電気が供給されていました。供給は夜の10時までという制約がありましたが、お祝いの日には11時まで延長することもあったようです。人々のお祝いにかける気持ちの強さがうかがえます。

はえばる エコセンターだより

南風原町在住の方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。申込みはエコセンターへ来店、または電話にて予約ください。
 ※各講座の詳しい持ち物・注意事項は予約の際にお伝えします。

問 はえばるエコセンター ☎889-4425

リユース制服

南風原町内から通える学校の制服・学用品のリユース活動をしています。

【寄付したい方】洗濯、アイロンがけをした後清潔な状態でお持ち込み下さい。状態が悪い物は譲り先が見つからないため受付できない場合があります。

【もらいたい方】サイズを確認し身分証を持参してご来店ください。南風原町在住の方は無料です。



【場所】はえばるエコセンター

ミシンDay

はえばるエコセンターの家庭用ミシンを自由に使える日です。手作りで新学期の準備をしてみませんか?(* ミシンを教える会ではありません。)事前予約も受け付けていますが、当日飛込でも空いていたら使えます。



【日時】2月13日(木)10:00~16:00
 2月14日(金)10:00~16:00
 【場所】はえばるエコセンター
 【料金】無料

野鳥と干潟の生き物探し

漫湖水鳥湿地センターの池村浩明氏のガイドで冬の干潟を散策し、野鳥や干潟に生息する生き物を観察します。散策・座学があります。小学1年生以上推奨。水筒持参、スニーカー着用。



【日時】2月24日(月)
 9:30~11:30
 【集合場所】漫湖水鳥湿地センター
 【料金】100円(保険料込み)

ハギレで作るパカパカコインケース

お家で余っているハギレやシャツをパッチワーク風に繋ぎ合わせて小さなパカパカコインケースや小物入れにリメイクしませんか? 【持ち物】ハギレを数枚(つなぎ合わせて45cm×15cmぐらいの大きさになるぐらい)



【日時】2月18日(火)
 10:00~12:00
 【場所】はえばるエコセンター
 【料金】500円 【定員】4人